



重点産業壓倒的

昨年度を凌ぐ申込み

重点産業の振興策として、昨年度を凌ぐ申込みが相次いでいる。これは、戦時体制の整備と、産業の高度化を促す効果的な手段として、政府が積極的に推進している。特に、機械工業、化学工業、電気工業などの重点産業において、企業の成長と技術革新が著しい。この動きは、戦後の経済復興と産業革命の先駆けとして期待されている。

見よ今日の日の搏戦を 緑丘健児の敢闘譜

新入生歓迎錬成大會



本校の新入生歓迎錬成大會が、昨日（二十日）午後二時から、緑丘体育館で開催された。当日は、新入生と在校生との交流を促進し、学校生活への意欲を高めることを目的として行われた。各種スポーツ大会や、歓迎会などが行われ、大いに盛り上がった。新入生たちは、先輩たちの熱意と指導を受け、自信を持って学校生活を送る決意を固めた。

重点産業の振興策として、昨年度を凌ぐ申込みが相次いでいる。これは、戦時体制の整備と、産業の高度化を促す効果的な手段として、政府が積極的に推進している。特に、機械工業、化学工業、電気工業などの重点産業において、企業の成長と技術革新が著しい。この動きは、戦後の経済復興と産業革命の先駆けとして期待されている。

西田教授御退官

今後講師として御在任



本校の西田教授が、御退官の旨を本校長に御報告された。西田教授は、本校に多大の貢献をなされ、学問の発展に尽力された。今後、講師として御在任を希望され、引き続き本校の発展に貢献されることとなった。西田教授の御退官は、本校の大きな損失であるが、今後の活躍を期待する。

民族問題に就て

中野清一氏講演



民族問題に就いて、中野清一氏が講演された。氏は、戦時体制下の民族問題の重要性を強調し、国民の団結と協力を促された。講演は、大いに聴衆の心を打動し、民族意識の高揚に貢献した。氏は、民族の存続と発展のために、国民一人一人が責任を担う必要があると述べた。

水泳惜敗!!

第十五回 對豫科戦々記



本校の水泳部が、第十五回 對豫科戦々記で惜敗した。試合は、激しい戦いとなり、本校選手は最後まで奮闘したが、結果は敗戦となった。しかし、選手たちは、悔しさを噛みしめ、今後の練習に励む決意を固めた。この結果は、選手たちの成長と努力の証であり、今後のさらなる進歩を期待する。

白衣慰問演奏

音楽班



本校の音楽班が、白衣慰問演奏を行った。演奏は、大いに聴衆の心を打動し、白衣隊員への敬意を表した。音楽班のメンバーは、練習を重ね、素晴らしい演奏を披露した。この演奏は、白衣隊員への慰問と、本校の文化活動の発展に貢献した。

校内対組戦

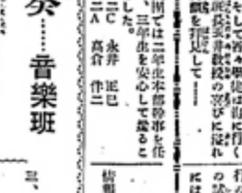
剣道部



本校の剣道部が、校内対組戦を行った。試合は、激しい戦いとなり、選手たちは、最後まで奮闘した。この対組戦は、選手たちの技術向上と、チームワークの強化に貢献した。今後の練習に励み、さらなる進歩を期待する。

ラグビー班

對礼戦



本校のラグビー班が、對礼戦を行った。試合は、激しい戦いとなり、選手たちは、最後まで奮闘した。この對礼戦は、選手たちの技術向上と、チームワークの強化に貢献した。今後の練習に励み、さらなる進歩を期待する。

水泳

水泳部



本校の水泳部が、水泳大会を行った。大会は、激しい戦いとなり、選手たちは、最後まで奮闘した。この水泳大会は、選手たちの技術向上と、チームワークの強化に貢献した。今後の練習に励み、さらなる進歩を期待する。

校内対組戦

剣道部



本校の剣道部が、校内対組戦を行った。試合は、激しい戦いとなり、選手たちは、最後まで奮闘した。この対組戦は、選手たちの技術向上と、チームワークの強化に貢献した。今後の練習に励み、さらなる進歩を期待する。

重点産業の振興策として、昨年度を凌ぐ申込みが相次いでいる。これは、戦時体制の整備と、産業の高度化を促す効果的な手段として、政府が積極的に推進している。特に、機械工業、化学工業、電気工業などの重点産業において、企業の成長と技術革新が著しい。この動きは、戦後の経済復興と産業革命の先駆けとして期待されている。

重点産業の振興策として、昨年度を凌ぐ申込みが相次いでいる。これは、戦時体制の整備と、産業の高度化を促す効果的な手段として、政府が積極的に推進している。特に、機械工業、化学工業、電気工業などの重点産業において、企業の成長と技術革新が著しい。この動きは、戦後の経済復興と産業革命の先駆けとして期待されている。

重点産業の振興策として、昨年度を凌ぐ申込みが相次いでいる。これは、戦時体制の整備と、産業の高度化を促す効果的な手段として、政府が積極的に推進している。特に、機械工業、化学工業、電気工業などの重点産業において、企業の成長と技術革新が著しい。この動きは、戦後の経済復興と産業革命の先駆けとして期待されている。

重点産業の振興策として、昨年度を凌ぐ申込みが相次いでいる。これは、戦時体制の整備と、産業の高度化を促す効果的な手段として、政府が積極的に推進している。特に、機械工業、化学工業、電気工業などの重点産業において、企業の成長と技術革新が著しい。この動きは、戦後の経済復興と産業革命の先駆けとして期待されている。

重点産業の振興策として、昨年度を凌ぐ申込みが相次いでいる。これは、戦時体制の整備と、産業の高度化を促す効果的な手段として、政府が積極的に推進している。特に、機械工業、化学工業、電気工業などの重点産業において、企業の成長と技術革新が著しい。この動きは、戦後の経済復興と産業革命の先駆けとして期待されている。



手塚先生を悼む

是如の世界で先生が説かれた大きな仕事に就いては先生の情熱のありかたに於いては案外真実の姿を知つてゐる人が少いのではないか

中野 清

(追悼記)

高垣寅次郎

追悼記の本文部分、高垣寅次郎による手塚先生への追憶と評価。

手塚さんは逝つたのか

氏家 公造

手塚さんは三つの世界に生きてゐた。一つは小説の世界、一つは評論の世界、一つは教育の世界。

級友亡き手塚君

もどきこの

三 森 野 佐

級友亡き手塚君の本文部分、手塚先生との思い出と追悼の言葉。

豫想に於けるピグーとケインズ

手塚先生と関係のある人物や出来事に関する追記。

手塚先生に関する追加情報や参考文献のリスト。

Bottom right section containing book advertisements and publisher information, including titles like '手塚先生の遺稿' and '手塚先生の追悼記'.

豫想に於けるビグーとケインズ

この論文を先生の御前に掲げると共に、この恐ろしく最後、の機会に心深く御詫言ひし度い。唯常に努力することを誓ふのみ。

田 脇 由 夫

ケインズの「一般経済学」は、現代経済学の大傑作である。その中心は、消費の心理と、それに伴う貨幣の流通と、そしてそれらによる物産の生産とに在りて、その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。

對立する經濟理論續

中 田 安 雄

「對立する經濟理論」の中心は、消費の心理と、それに伴う貨幣の流通と、そしてそれらによる物産の生産とに在りて、その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。

「對立する經濟理論」の中心は、消費の心理と、それに伴う貨幣の流通と、そしてそれらによる物産の生産とに在りて、その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。

「對立する經濟理論」の中心は、消費の心理と、それに伴う貨幣の流通と、そしてそれらによる物産の生産とに在りて、その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。

短歌に於ける二つの態度に就いて

(第二面より)

短歌に於ける二つの態度に就いて。短歌は、我が國の文學の精華である。その歴史は、極めて古く、かつ、極めて長い。その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。

短歌に於ける二つの態度に就いて。短歌は、我が國の文學の精華である。その歴史は、極めて古く、かつ、極めて長い。その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。

短歌に於ける二つの態度に就いて。短歌は、我が國の文學の精華である。その歴史は、極めて古く、かつ、極めて長い。その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。

經濟學 土方成美著 ¥ 4.80
 永田清著 財政學の展開 ¥ 4.80
 グラウマン著 概観世界史 (全7巻) 各 ¥ 2.80
 日本大學 ¥ 1.20
 山下勝治 原價價格計算 ¥ 4.50
 尙御注文には隨意に應じます
左文字書店

新刊書籍雑誌
 豊富に取揃へてあります。
 雑誌文は特に迅速に取扱ます。
丸文書店
 花園町大通(電)73863

ニイチエ哲學
 一生の理想にその批判 價三三〇円
 勤皇畫人傳 價三三〇円
 大和し美し 佐藤一英詩集
 夜之歌 價三三〇円
邦 社

第一書房
 池田龜藏著 古典文學論
 三枝香博著 梅園哲學入門
 中江藤樹著 人生觀
同文館・新刊
 イギリス政治經濟史
 矢口孝次郎著
 日本と新文化建設
 徳治著

折衷學派の價值學說
 折衷學派の價值學說。折衷學派は、現代經濟學の大傑作である。その中心は、消費の心理と、それに伴う貨幣の流通と、そしてそれらによる物産の生産とに在りて、その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。その論議は、極めて平易で、かつ、極めて明快である。

